

分析調査の対象となる

アスベスト吹付け材が施工されているおそれのある建築物とは・・・

建築物の種類

鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の建築物には使用されている可能性があります。

（木造の住宅の場合、吹付け材が使用されている可能性は極めて低いですが、鉄骨造の車庫や倉庫がある場合は、耐火被覆として使用されている可能性があります。）

アスベスト吹付け材の製造時期

昭和30年ごろから平成元年までアスベスト吹付け材が製造されていました。建築物がいつ建設されたかを確認し、アスベストの使用の可能性についておおよそを判断してください。

アスベスト吹付け材の種類	製造時期	主な用途	主な施工箇所
① 吹付けアスベスト	① 昭和31～昭和50	鉄骨耐火被覆用 防音用 結露防止用	天井、屋根裏、 鉄骨柱、鉄骨梁、 外壁、軒天など
② アスベストを含有する ロックウール吹付け材	② 昭和36～昭和62（乾式） 昭和45～平成元年（湿式）		
③アスベストを含有する パーライト吹付け材	③ ～平成元年	仕上げ材	内装の天井、壁 など
④アスベストを含有する バーミキュライト吹付け材	④ ～昭和63年	仕上げ材	内装の天井、壁 など

施工箇所の例

鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の場合は、天井裏やエレベーターの壁、機械室やボイラー室、階段の天井、駐車場などに使われている可能性があります。

アスベスト吹付け材の写真

吹付けアスベスト



鉄骨耐火被覆材



天井断熱材



機械室吸音材

吹付けパーライト



天井梁

吹付けロックウール



天井断熱材、天井、壁吸音材



鉄骨耐火被覆材

吹付けパーミキュライト（ひる石）



天井



天井近景